

自分軸 自己治癒力

大雪から始まった3学期でした。雪への対応で始業日を延期しオンラインでの授業を余儀なくされましたが、保護者様をはじめ学校関係者の皆様には、急な変更へのご対応をいただき、心より感謝申し上げます。

卒業式や来年度の準備を進めるにあたり、気になるのはやはりスペインと日本のコロナ感染者数の状況です。スペインへの入国規制解除対象国から日本は外され、日本の感染者数が決してよい状況でないことを実感しました。マド日に関わる皆様が健康で年度を迎えられるようお願いいたします。

コロナに対するワクチンの話も現実的になってきました。人類の知恵で必ずこのコロナ禍を乗り越えていくことができると信じています。

しかしコロナ禍で一人一人がメンタルの面で少なからずダメージを受けていることは間違いありません。こんな話を聞きました。

『風邪をひくと処方される抗生物質は、風邪のうち約5%を占める細菌の風邪には効くが、残りの約95%のウィルスの風邪には効かない。解熱剤は熱を下げる薬、消炎剤は炎症を抑えて咳や鼻水を和らげる薬であり、ウィルスの風邪から回復していくのは体がもつ自己治癒力である。「病は気から」といわれるのはあながち間違いではなく、様々な自粛で暮らしが制限され、本人が気づかないうちにメンタルに大きな負担がかかっているその時に、自分の価値観で判断する「自分軸」が大切となる。これがないと、制限のある生活の中で、他人が何をしているかが気になり、自分の体や心の健康に必要なかどうかの基準がずれていくことがある。結果として自己治癒力は低下していく…。』

子どもたちは自分の身近に目標をもち、達成感を得ることで「自分軸」がはっきりしてくると思え、今、それを支えていくことが私たち教員にとって大切なことだと思います。

コロナを乗り越える時間が長引き、子どもたちが、メンタル面で沈んでいかにように、観察や声掛けを大切に、自己有用感を味わわせていきたいと思えます。



2月 教育計画

1	月	全校集会
2	火	
3	水	*立春
4	木	中学部中間テスト
5	金	中学部中間テスト
6	土	
7	日	
8	月	現地校交流会
9	火	中学部基礎コン(英単語)
10	水	
11	木	持久走記録会
12	金	スポーツタイム
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	スポーツタイム
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	スポーツタイム ミニ運動会
27	土	
28	日	



マド日の大雪

大雪の被害は校内でも大きく、中庭プール付近の松の大木が、枝に積もった雪の重さに耐えきれず、根元から倒れました。そのほか枝が折



れかけている木もありましたので、庭園業者に依頼して除去しました。

学校が開校しても雪は残っており、子ども



もたちは大喜び、久しぶりに会った友達と雪だるまづくりや雪合戦などに興じていました。

書初め大会

本校では1月の始業式に毎年書初め大会を行っています。1, 2年生は硬筆、3年生以上の小学生と中学生は毛筆です。全校児童生徒が体育館に集まり書初めの由来や実施方法についての説明を受けた後、それぞれ取り組みました。寒い体育館ですが、全員が集中して取り組み緊張感のある時間が流れました。小学生は中学生の筆さばきを見て、感動しながらも、今後取り組んでいく「毛筆」についてのイメージを持つことができました。

持久走記録会練習始まる

2月11日に予定している持久走記録会の練習が始まりました。例年は近隣の公園の遊歩道をお借りしてマラソン大会を実施していましたが、今年はコロナ感染症への対策で本校運動場での持久走記録会としました。

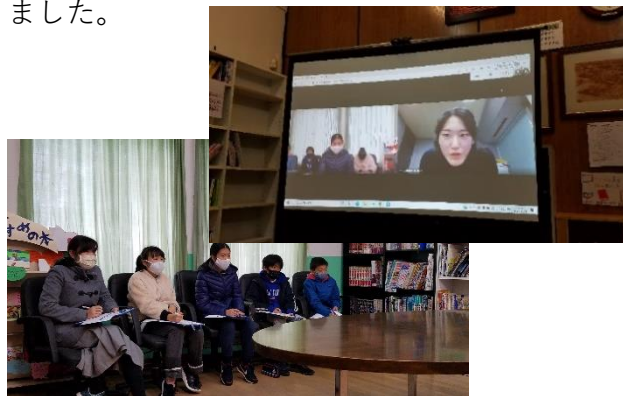
決められた時間の中で運動場を何週まわることができるか、自分で目標を立てての取り組みです。中休みを利用して練習を重ねています。



外交官の仕事とは…。

大使館にご勤務されている方をお招きし、中学部のキャリア教育の一つとして、「外交官の仕事について」のお話をいただきました。国と国をつなぐ大変なお仕事ですが、歴史に残る条

約の締結の場にいられること、もっと日本を海外に紹介したいと頑張っている方のお手伝いができることにやりがいを感じているというお話をお聞かせいただきました。また、中学生には「面倒くさい」と感じることは後になって楽をする（役立つ）ことにつながるというアドバイスもいただきました。外交官の方のお話は日本ではなかなか聞かせていただくことはありません。日本人学校だからこそその貴重な時間となりました。



授業についての勉強会

本校の教員は、授業の進め方についての勉強会を開いています。日本の学習指導要領には各教科や活動で「子どもたちに身に付けさせたい知識や能力」が示されています。それぞれの授業の中でどのように授業を組み立てていくことでその力がつくか、各教員が工夫して実践していきます。それぞれの教員の授業を見ることは大変勉強になります。

子供たちにとっては、いつもと違い大勢の先生がいる中で授業が進んでいくので緊張していたようですが、よく考えよく発表しがんばる姿を見ることができました。日本の学校のように教員が勉強会をすることは他の国ではあまり見られず、日本の教育の特徴とも言われています。これからも児童生徒にとってさらにわかりやすい授業を目指して勉強を重ねていきたいと思えます。

